

# 土砂災害に備えましょう 危険箇所や避難場所などの確認を

近年、全国的に、集中豪雨による土砂災害が多発し、住民の生命・財産に大きな被害を及ぼしています。日頃から土砂災害に備え、身を守りましょう。

## 危険箇所の確認を

本市には、土砂災害危険箇所が市内各地に多数点在しています。土砂災害に備える第一歩は、住んでいる場所やその付近に土砂災害危険箇所があるかどうかを確認し、危険性を認識することです。

土砂災害防止法に基づき県が指定する「土砂災害警戒区域・特別警戒区域」は、平成26年10月現在、市内での指定はありませんが、人命に危害を及ぼす可能性の高い341箇所の区域指定に向けて、現在、県と市が連携して、住民説明会を順次実施しています。

## 気象情報の収集を

土砂災害は、主に大雨などで地盤が緩むことよって発生します。雨が降り始めたから、雨量や気象情報などに注意し、テレビやラジオ、インターネットなどから、積極的に情報収集をお願いします。

## 早めの避難を

大雨などで土砂災害の発生に不安を感じる場合や、県と気象台による「土砂災害警戒情報」が発表された場合には、市の避難勧告などが発令される前でも、速やかに安全な場所へ避難するほか、強固な建物の2階以上に緊急避難するなど、早めの自主避難をお願いします。

まつやま防災マップ（市民課〈市役所本館1階〉、支所、消防署、市ホームページ）には、土砂災害危険箇所や土砂災害の前兆現象、避難のポイントのほか、各地区の避難場所や非常時の持ち出し品など、災害から身を守るための必要な情報を掲載しています。適切な避難場所や避難経路などを確認し、日頃から家族や地域で災害時の行動などを話し合ひましょう。

※土砂災害への備えなどは市ホームページにも掲載しています。

## 防災マップの確認を

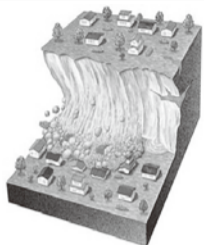


## 土砂災害の前兆現象を知りましょう

土砂災害には「がけ崩れ」「土石流」「地すべり」の3種類があり、これらが発生するときには多くの場合、何らかの前兆現象が見られます。大雨の時などには特に注意し、前兆現象に気付いたら、周囲の人にも知らせ、いち早く安全な場所に避難することが大切です。

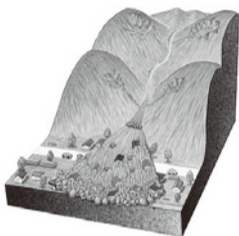
### 【がけ崩れの前兆現象】

- ・がけから小石がパラパラ落ちてくる
- ・がけから急に水が湧き出る
- ・がけから異様な音・地鳴りが聞こえる
- ・がけにひび割れができる
- ・がけから流れている水が濁る



### 【土石流の前兆現象】

- ・山鳴りがする
- ・立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる
- ・急に川が濁り、流木が混じり始める
- ・降雨が続くのに川の水位が下がる
- ・腐った土の匂いがする



### 【地すべりの前兆現象】

- ・井戸や沢の水が濁る
- ・地面がひび割れ・陥没する
- ・亀裂や段差が発生する
- ・がけや斜面から水が噴き出す
- ・地鳴り・山鳴りがする
- ・樹木が傾く

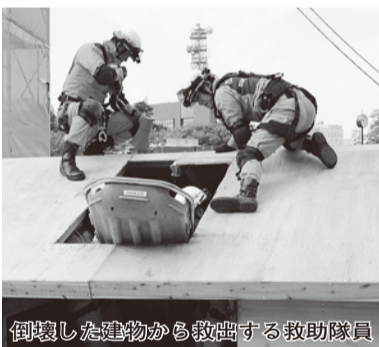


※イラスト：NPO 法人 土砂災害防止広報センター

## 市総合防災訓練

# 震度7想定し1500人が参加

9月27日、城山公園で市総合防災訓練が行われ、地元住民・自主防災組織・関係機関など約1500人が参加しました。訓練は9時ごろ、南海トラフを震源とするマグニチュード9.0の巨大地震が発生し、市内で震度7を観測、市内中心部では、火災、高層建物の損壊、木造家屋の倒壊による事故などが発生したとの想定で実施。参加者は協力しながら、消火、救出救助、避難者の受け入れの応急対策などの訓練を行いました。



倒壊した建物から救出する救助隊員



応急救護所での応急手当



バケツリレーで初期消火訓練



AEDの使い方を学ぶ参加者

## いつ起きても慌てない



番町地区自主防災組織連合会会長 小倉 裕さん

災害は24時間いつ起きるか分かりません。もし深夜に発生しても慌てることのないよう、日頃から逃げ道と避難場所を確認しておくことが大切です。人命が失われることのないよう、訓練で学んだことを生かしていきたいです。

## 命を守る備えを



松山市消防団女性分団分団長 高橋 真由美さん

私たちの女性分団は独身者や子育て世代など幅広い年代の団員で構成されており、さまざまな年齢層の人に応じた援助ができるよう訓練しています。各家庭でも家具の固定や備蓄など、まずは自分の命は自分で守る備えが大切だと思います。